

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市内の住宅等所有者	地震に対する建築物の安全性の向上を図る。
現状・課題	耐震診断業務の委託及び、耐震改修工事に対する補助金の交付を毎年度継続的に行っている。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市耐震診断事業実施要綱 中野市耐震改修事業補助金交付要綱
事務事業概要	耐震診断業務の委託および、耐震改修事業の補助金を交付する。	
令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	住宅の耐震診断新申請手続および耐震診断委託	20件
	耐震改修事業に対する補助金交付	5件
	耐震改修補助事業などの広報	随時

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	予算額	当初予算	円	4,268,000	7,966,000	6,478,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	4,268,000	7,966,000	6,478,000
	決算（見込）額 A		円	1,840,000	7,966,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	920,000	3,889,000	3,239,000
		県支出金	円	460,000	2,019,000	1,619,000
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	460,000	2,058,000	1,620,000
	正規職員数		人	0.52	0.47	0.52
	人件費 B		円	3,349,840	3,040,900	4,589,520
総事業費 A＋B		円	5,189,840	11,006,900	11,067,520	
市民1人当たりコスト		円	122	260	263	

成果指標 アウトカム		方向	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
住宅の耐震改修補助金の交付	増加	目標	3	件	6	件	5	件
		成果	1	件	1	件	—	
住宅耐震診断士の派遣	増加	目標	20	件	20	件	20	件
		成果	13	件	4	件	—	
成果指標と目標値を設定した理由	建築物の構造体に係る耐震性能向上を図ることで、安全性が向上し、市民が安心して暮らせる住環境が整備できるため。							

令和 3 年度の 実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	下げる	成果	上げる
	補助制度の周知を行い、補助事業実施件数の増加を目指す。						

事務事業名	住宅耐震化促進事業	部・局	建設水道部
		課・室	都市計画課
		係	建築住宅係

[illegible]